

日本地球惑星科学連合によるオープン・アクセス電子ジャーナルの創刊 Publication of open access e-journal by JpGU

川幡 穂高^{1*}
Hodaka Kawahata^{1*}

¹ 東京大学大気海洋研究所

¹ Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo

JpGUは、分野を代表する「公益社団法人」で、地球惑星科学は、地球物理学、地質学、鉱物学、地理学などの学問分野から構成されており、わが国における地球惑星科学関連学協会49が参加しています。これまで20年にわたり例年5月に多数の学会が共同して口頭・ポスター発表ができる機会を作り、連合して地球惑星科学を発展させる確固とした土台を築いてきました。2012年(H24)には口頭・ポスターの全投稿件数は3,876件、全参加者も7,318人と過去最大を記録し、毎年増加傾向にあります。

今回の新規取り組みはJpGUが「電子媒体」ジャーナルを多数の学協会と協力して発刊することであり、現在、連合大会ではアブストラクトのみが公表されています。本事業は、連合大会での優秀な発表論文とともに地球惑星科学に関するレビュー(総論)を中心に文字媒体による国際情報発信を目的としたものです。具体的には1)地球惑星科学における世界の一極を担えるオープン・アクセス(OA)電子ジャーナルの創刊、2)連合大会の多角的・統合的な成果の公表、3)参加学会との共同発行です。この概念は、日本学術振興会の科学研究費補助金の趣旨そのものであると言えますので、すべての参加学協会の合意を得て、「研究成果公開促進費」の申請をしております。本セッションでは、JpGUのめざすジャーナルについて、最新の情報を提供するとともに、参加の皆様の要望を伺うとともに、問題点などを議論したいと考えています。

キーワード: 日本地球惑星科学連合, オープン・アクセス電子ジャーナル, 地球惑星科学, 参加学会, 日本学術振興会
Keywords: JpGU, open access e-journal, earth planetary science, Participating society, JSPS